



はちもり

八峰町立八森小学校

目指す子ども像

- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切に子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



校訓：海のように 波のように 岩のように

令和6年1月19日(金) 第34号 文責：安部 晃幸



まとめの3学期 始まる!

保護者の皆様、あけましておめでとうございます。昨年中は本校教育活動に対し、ご支援ご協力いただきまして、心より感謝申し上げます。

さて、いよいよ1年をしめくくる3学期が始まりました。登校する日は40日あまり。あっという間に終わる学期ですが、4月の進学・進級に向けた準備のための大事な学期でもあります。

今年も安心・安全に気を配り、子どもたちが健やかに成長できるよう教育活動を進めていきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。



3学期の主な行事

【1月】

- 15日(月) 3学期始業式
- 18日(木) 移動保健教室
- 23日(火) かもめ読み聞かせ
- 24日(水) 活動委員会 身体測定
- 26日(金) 新入学児童保護者説明会
- 30日(火) 避難訓練

【2月】

- 2日(金) 児童集会 八峰中入学説明会
- 6日(火) 6年薬物乱用防止教室
- 8日(木) PTA三役会
- 10日(土) ミニバスアリナス杯
- 11日(日) ミニバスアリナス杯 建国記念の日

- 12日(月) 振替休日
- 15日(木) 6年交流授業(峰浜小へ)
- 21日(水) 活動委員会(最終)
- 22日(木) 学年末PTA 2年食育教室
- 23日(金) 天皇誕生日
- 27日(火) かもめ読み聞かせ
- 28日(水) 活動委員会(新)
- 29日(木) 6年生ありがとう集会 登校班長会



【3月】

- 1日(金) 地区児童会
- 6日(水) 集金日
- 11日(月) 振替休業日(3/16 卒業式)
- 16日(土) 卒業式
- 20日(水) 春分の日
- 21日(木) 修了式
- 22日(金) 春季休業日(~4/3)
- 28日(木) 離任式



三学期スタート 始業式

1・3・5年の代表児童が冬休みの楽しかった出来事や今年の目標を発表しました。いずれも堂々とした発表でした。その後、全校で大きな声で校歌を歌い、3学期をスタートしました。



1年 岩城 福愛さん
家族で行った男鹿水族館G A Oでの楽しかった思い出を、詳しく話しました。



3年 小林 心陽さん
「諦めないこと」、「自分に自信をもつこと」を3学期の目標として頑張っていくことを話しました。



5年 高橋 美緒さん
今年の目標「勝」を実現するため、勉強やバスケを頑張りたいと決意を述べました

☆書き損じはがき拋出のお願い☆

秋田県PTA連合会では、例年「書き損じはがき」の拋出運動を実施しています。御家庭で書き損じた年賀はがきや普通のはがき、古い未使用のはがきを受け付けております。お子さんに持たせてください。御協力よろしく願いします。



移動保健教室

1月18日(木)、秋田社会保険病院の大塚美穂子先生を講師としてお招きし、「メディア

と健康」をテーマに移動保健教室を行いました。最初に、健康委員会が本校児童のメディアの平均使用時間を示しながら、メディアが生活に悪影響を与え、おそれがあることを発表しました。その後、大塚先生から「メディアの特性や安全な行動の仕方」、「メディアが生活に与える影響」等についてご講演いただきました。

利用する子ども自身もメディアの特性を理解し、適切な使い方を示すことができます。また、保護者の管理・安全を助けることもできます。



今週の一枚

谷川翔平選手が、より話題のグロブを届けた。本校にも届き、メッシュボールのグロブも届きました。本校にも届き、メッシュボールのグロブも届きました。本校にも届き、メッシュボールのグロブも届きました。

小中連携奉仕活動



12月25日(火)、5・6年生が八峰中の生徒と一緒に各地区で奉仕活動を実施し、コミュニティ・センターの雪かきや施設内の清掃などを行いました。限られた時間の中での活動でしたが、地域の一員として、地域に貢献できた充実した活動になりました。

活動にご協力くださった自治会長さんや地域の方々、保護者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



【立石・茂浦】



【岩館】



【中浜】

つばき 二〇二四 新年を迎えて

「一年の計は元旦にあり」といいます。物事を始めるにあたっては、最初にきちんとした計画を立てるのが大切ですが、そのためには、今年どんな自分になりたいか、具体的なイメージをしっかりとつけてきます。

ちよつと古いのですが、今から七年前の一月四日、こんなことがありました。



埼玉県鴻巣市は四日、県道に散乱していた古紙を一人で回収した行田市在住、県立鴻巣高校一年の湯本里咲さんに感謝状を贈った。見て見ぬふりをして通り過ぎる自分を受け入れられず、後先のことを考えずに一心不乱に集めた行動は、周囲の心を揺り動かした。自転車で通学している湯本さんは昨年十二月二十一日夕方、鴻巣市屈巢の県道を通りかけた際、新聞紙や折り込みチラシが半径約三メートルにかけて大量に散乱しているのを目の当たりにした。一度はそのまま通り過ぎたものの、「何もしていない自分に辛くなった」と戻ってきた。

当初は古紙を自転車の前かごに積んで自宅を持ち帰ろうとしたが、収まり切れない。約五〇〇メートル離れたコンビニエンスストアへ行き、ごみ袋を買って戻り、再び拾い集めた。現場は交通量の激しい通り。湯本さんは青信号になるたびにひたすら拾い続けた。湯本さんは午後五時二十分ごろ、同署に「女子高生が落とした荷物を一人で拾っている。かわいそうだから助けてほしい」と連絡が入った。署員が駆け付けると、すでにごみ袋三袋分、計十キロの古紙が回収されていた。持ち帰り方法を考えていた矢先に署員が到着。安心した湯本さんの目からは涙が流れた。

高校ではバスケット部に所属している湯本さん。学校周辺のごみ拾いなど、美化活動をしてから朝の練習に取り組みんでおり、学校でもやっているのだから前と違って拾いました」と振り返った。市村知孝署長から感謝状を贈られ、湯本さんは「周りの事をもっと見られる一年にしたいです」とほほ笑んだ。

(二月六日 埼玉新聞)

みなさんは今年、どんな一年にしたいですか？